

**平成 23(2011)年度東京大学大学院工学系研究科
都市持続再生学コース(都市工学専攻) 修士課程 10 月入学
入学志望者案内**

1. 定員及び出願資格

都市持続再生学コース（都市工学専攻、通称「東大まちづくり大学院」）修士課程の募集人員は 12 名である。東京大学大学院工学系研究科都市持続再生学コース（都市工学専攻）修士課程学生募集要項第 1 項の出願資格を有する者であれば、その専門及び資格取得年次等によらず入学を志望することができる。募集要項第 1 項の出願資格のうち、「都市の計画・デザイン・マネジメント・整備・保全、あるいは様々なまちづくり活動に関わる分野で、社会人として 2 年以上の実務経験」について、出願前に資格の有無の確認を希望する場合は、平成 23(2011)年 5 月 2 日（月）までに admission@mps.t.u-tokyo.ac.jp に連絡をすることにより確認することができる。

2. 指導教員

本コースは工学系研究科都市工学専攻に設置されているが、都市工学専攻・社会基盤学専攻・建築学専攻の 3 専攻を横断する教育プログラムであり、教育及び研究指導にはこれら 3 専攻に属する専任教員、委嘱教員、特任教員、及び非常勤講師があたる。

教員の専門は、都市計画、都市環境工学のほか、都市空間のマネジメント論、都市政策論、都市のエネルギー政策論、都市の合意形成論、都市建築デザイン論など関連する分野である。

詳しくはコース HP : <http://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/mps/> を参照のこと。

3. カリキュラムの概要(カリキュラムの詳細も上記コース HP を参照のこと)

まちづくり演習	持続可能な環境都市づくり、少子高齢化時代のまちづくり、美しい街並み作り、協働のまちづくりの 4 つの主要課題に掲げ、ケースメソッド方式の講義を踏まえつつ構想・提案を製作します。
都市空間政策	都市の空間計画、交通政策、環境政策、安全・安心、都市建築デザイン、都市福祉政策、都市のガバナンスといった広範な領域について知識を修得します。
都市経営基礎	都市のマネジメント、都市づくりの制度、都市のエネルギーマネジメント、都市社会論、といった講義群により、都市づくり・まちづくりに必要とされる経営、財政、社会理解に関わる科学の基礎知識を体系的に修得します。
都市経営戦略	都市と住宅・不動産開発、都市の産業と経営戦略、都市の文化・観光政策といった講義群により、都市経営や都市政策の立案に必要とされるより実践的な知識を修得します。
特別講義	省庁担当官等による都市関係制度・事業、自治体による先駆的試み、最新の都市開発事例、海外の著名研究者による講義、海外都市計画大学院との相互交流演習等を予定しています。
都市持続再生学 特別演習 (修士研究)	学生の実務・関心に直結した研究を 2 年次より行います。

4. 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、筆記試験（英語、専門科目、小論文）と口述試験の成績及び提出書類を総合的に判定することにより行う。

入学試験は、**平成 23(2011)年 6 月 25 日（土）午前 10 時～午後 6 時頃**の間に、**東京大学工学部 14 号館内教室等**において行う。

(2) 外国人出願者は、選抜方法が異なる場合があるので、あらかじめ都市工学専攻事務室に問い合わせること。

5. 入学試験科目

(イ) 筆記試験

A 英語及び専門科目（10：00～12：00 120 分間）

英語(配点割合 10%)：英文和訳など英文の理解力を問う問題。

専門科目(配点割合 50%)：都市の計画・デザイン・マネジメント・整備・保全、あるいは様々なまちづくり活動に関わる分野における専門知識を問う複数の設問から指定された数を選択して解答する。

B 小論文(配点割合 40%)（13：00～14：30 90 分間）

都市の計画・デザイン・マネジメント・整備・保全、あるいは様々なまちづくり活動に関わる分野におけるこれまで経験を踏まえた今後のまちづくりのあり方に関して考えるところを、設問に対応して、決められた字数の小論文にまとめる。

(ロ) 口述試験（15：00～ 順次行う）

都市の計画・デザイン・マネジメント・整備・保全、あるいは様々なまちづくり活動に関わる分野におけるこれまでの経験、本コースへの志望理由、本コースでの学習への取り組み姿勢などについての口頭試問。

6. 過去の入学試験問題

過去の入学試験問題は公開されている。入手方法についてはコース HP を参照のこと。

7. その他

入学志望者は、この入学志望者案内の 5 頁に掲載されている「入学試験受験者心得」を熟読すること。

8. 連絡先

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻事務室
(電話 03-5841-8362)

この案内書は、平成 23 年度東京大学大学院工学系研究科
都市持続再生学コース修士課程募集要項を補うものである

都市持続再生学コース提出書類

実務経験の概要と志望理由

本コースでは、出願時までに都市の計画・デザイン・マネジメント・整備・保全、あるいは様々なまちづくり活動に関わる分野（本コースでは関連分野を幅広く捉えている）で、社会人として2年以上の実務経験があることを出願資格としている（ただし、出願時までにまちづくり関連の大学院を修了している場合、上記の各分野の社会人として、1年の実務経験とみなす。）。以下では、1.実務経験の概要（出願資格の確認のため）、2.実務経験の中で本コースと関係が深いものの詳細と貴方の役割（口述試験の参考とするため）、3.本コースで学習・研究したいこととその理由、について書き、他の提出書類と共に提出すること。別紙の添付は認めない。本書類はコース HP (<http://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/mps/>)からダウンロードし、作成した上で、提出することもできる。

氏名	
----	--

1. 実務経験の概要（出願資格の確認のため）

2. 実務経験の中で本コースと関係が深いものの詳細と貴方の役割（口述試験の参考とするため）

3. 本コースで学習・研究したいこととその理由（口述試験の参考とするため）

平成 23(2011)年度 東京大学大学院工学系研究科
都市持続再生学コース（都市工学専攻）
修士課程 入学試験受験者心得

1. 試験日

平成 23（2011）年 6 月 25 日(土)
(試験時間の詳細は、本冊子 2 頁を参照のこと。)

2. 試験場

東京大学工学部 14 号館(東京都文京区本郷 7-3-1) 試験場案内図(次頁)参照
受験者は、試験開始時刻の 15 分前までに所定の試験室に入室すること。定刻に遅れた場合は、試験監督者に申し出ること。

3. 携行品

- (1)受験票
- (2)黒色鉛筆(又はシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り(卓上式は不可)又はナイフ、時計(計時機能だけのもの)
- (3)携帯電話は、試験室入室前に電源を切って、カバン等に入れ、身につけないこと。これを時計として使用することは認めない。

4. 試験時間中の留意事項

- (1)試験開始後は、解答が終わった場合でも、また、受験を放棄する場合でも退室を許さない。
- (2)試験時間中、受験票を常に机上に置くこと。
- (3)解答用紙には、受験番号のみを記入し、氏名は書いてはならない。
1 問ごとに必ず 1 枚の解答用紙を使用すること。書ききれない場合は、裏面を使用してもよい。
- (4)解答用紙及び問題冊子は、持ち帰ってはならない。

5. その他

- (1)合格者は、平成 23(2011)年 7 月 8 日(金)午後 4 時に工学系研究科掲示板に掲示する。また、平成 23(2011)年 7 月 13 日(水)までに Web サイト(<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/tpage/index.html>)に掲示する。
- (2)合格者については、合格通知書を本人宛に郵送する。電話、FAX、メール等による合否の照会には応じない。
- (3)出願以後において、現住所、受信場所等に変更が生じた場合には、速やかに届け出ること。

平成 23(2011)年 4 月

試験場案内(東京大学本郷キャンパス)
Map for the Examination
 (Hongo campus, the University of Tokyo)

地下鉄利用 Subway

- ・本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩15分
 Hongo-sanchoime Station (Subway Marunouchi Line) 15min.walk
- ・本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩15分
 Hongo-sanchoime Station (Subway Oedo Line) 15min.walk
- ・根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩12分
 Nezu Station (Subway Chiyoda Line) 12min.walk
- ・東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩10分
 Todaimae Station (Subway Namboku Line) 10min.walk

その他のアクセスについては次を参照のこと

Refer to the following for other accesses

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

